



11月の予定

〈公〉中央公民館 〈農〉農業者トレーニングセンター
〈町〉町民会館 〈さ〉さんさん館 〈健〉健診ホール
〈温〉温水プール 〈ふ〉ふれあい公園PG場

- 2日(日) [休日当番病院] 美幌 田中医院 ☎73-2913
3日(月) 津別町功労者表彰式〈公〉
[休日当番病院] 美幌 こばやし内科クリニック ☎73-3356
9日(日) [休日当番病院] 津別病院 ☎76-2121
15日(土) つべつウッドロスマルシェ 午前9時～正午
〈津別町木質バイオマスセンター〉
16日(日) [休日当番病院] 美幌 玉川医院 ☎75-2780
19日(水) 離乳食教室 午前10時～ 栄養指導兼調理室
23日(日) [休日当番病院] 美幌町立国保病院 ☎73-4111
24日(月) [休日当番病院] 美幌療育病院 ☎73-3145
30日(日) 美幌 みやざわクリニック ☎75-0800



令和7年9月末現在
()は前月比

人口 3,913人(+9) 世帯 2,135戸(+12)
男性 1,941人(+8) 女性 1,972人(+1)
高齢化率 45.72% 1,789人

メール配信システム「ささえねっと@つべつ」への登録をお願いします！

町の防災情報など大切な情報をお届けしています。

メールの登録方法

①QRコード
から登録



②t-tsubetsu@sg-p.jp(メールアドレス)を入力し、空メールを送り登録

LINEの登録方法

QRコード
から登録



※詳細は、町ホームページをご覧ください。



【227】津別寝台車保存会来町

10月5日、今年もまた九州福岡から「鉄道友の会客車気動車研究会」の中村光司さんとお仲間2人が来町された。中村さんの名刺には「津別寝台車保存会」と書かれている。これは津別キャンプ場内にある寝台車を指している。

津別町は昭和59年に開基100年を迎え、記念事業の一環として昭和58年から61年にかけて自然運動公園を整備した。その施設の一角にキャンプ場があり、2両の寝台車が展示されている。

このうちの1両スハネ16510号は、昭和14年に日本車輛製造が製造したスロハ31583号を昭和41年に寝台車に改造して作り上げた国鉄製最後のB寝台車である。

今や群馬県安中市の碓氷峠鉄道文化むらにある日立製作所製のオハネ1228号とともに、日本に2両しか残っていない貴重な車両である。中村さんにお会いするまでこのことを知らなかった。

たてよこプラス



町長 佐藤多一

施設として運ばれて来たものだが、経緯については残念ながら町史に記載がない。平成20年に開催された北京オリンピックを前に、競技場建設に鉄が不足しているとの情報から、2両の寝台車を解体売却する話もあった。合併から自主自立の道を選んだ町の財源確保が目的だった。保存作業の様子を含め、近く「津別ユース」でYouTube公開予定。

その後、翌年5月に保存のため整備をさせて欲しいと来町され、同年9月から自費による整備が開始された。以降毎年キャンプシーズンの前後に来町され整備が続けられている。保存作業は車体から油を抜き、車体を磨き、窓ゴム劣化部分を防水処理し、床下配管のテープングなどを行っている。寝台車はキャンプ場の有料宿泊

中村さんが最初に津別町を訪れたのは、令和4年9月。後世への列車文化の継承を目的に現物を見学に来られた。そして翌月10月に再度来町され、写真と動画を撮影されていた。